

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月29日

上場会社名 日本電産トソク株式会社
コード番号 7728 URL <http://www.nidec-tosok.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹松 和男
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 丹野 光好
四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東

TEL 046-252-3112

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	19,117	—	1,284	—	1,257	—	391	—
20年3月期第3四半期	19,101	9.8	1,424	△11.3	1,464	△11.7	1,441	34.7

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	20.36	—	—	—
20年3月期第3四半期	74.94	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	29,749	22,464	22,464	62.2	961.44	961.44	961.44	
20年3月期	30,777	22,669	22,669	61.3	980.41	980.41	980.41	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 18,498百万円 20年3月期 18,863百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
21年3月期	—	12.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	△10.4	1,200	△44.8	1,200	△45.4	400	△75.5	20.79

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 有
〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕
- (4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 19,250,233株 20年3月期 19,250,233株
② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 9,564株 20年3月期 9,530株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 19,240,679株 20年3月期第3四半期 19,240,924株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想に関する事項は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における経済環境は、米国発の金融危機の影響による世界的な景気減速が国内経済にも波及し、輸出の減少や円高の影響により、企業収益の大幅な減少や雇用情勢の急速な悪化など景気の後退が顕著となりました。

このような状況下、前年同期と比較した当第3四半期の当社グループ業績は、連結売上高は191億1千7百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は12億8千4百万円（同9.8%減）、経常利益は12億5千7百万円（同14.1%減）、当四半期純利益は3億9千1百万円（同72.8%減）となりました。株式市場の急落により、当社保有の投資有価証券の減損処理をしたことにより当四半期純利益が大幅に減少しております。

①事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりであります。

（自動車部品事業）

自動車部品事業は、引き続き、当社主力製品の富士重工業向けレガシー用コントロールバルブ、軽自動車用コントロールバルブ、ジヤトコ向け小型車用コントロールバルブ等が好調で売上高は当第3四半期（9ヶ月間）は143億5千9百万円（前年同期比12.1%増）と増収となり、営業利益は11億6千4百万円（前年同期比30.2%増）と増益となりました。これは、昨年度から取り組んでいる利益改善活動の効果と比較的堅調に推移した上期までの増収によるものです。

10月以降の自動車の急激な販売不振の影響を受けて、当第3四半期（3ヶ月間）は前年同期比で減収・減益と大変厳しい状況となりました。

当第3四半期から原価低減の加速、経費の削減と固定費の削減などにより収益体質改善に取り組んでおります。

（半導体製造装置事業）

顧客各社は、長引く半導体不況により製品単価の下落・在庫調整等で設備稼働率が低下しており、半導体製造装置事業の売上高は当第3四半期（9ヶ月間）で、18億9千万円（前年同期比47.0%減）と大幅な減収となりました。

損益面では、合理化を推進するも売上げの大幅減により営業損失は1億8千1百万円（前年同期の営業利益2億3千3百万円）となりました。

第4四半期以降に向けては、厳しい市場環境を踏まえ小工事、改造などの受注活動を進めると共に、固定費削減・中国生産関連会社の活用・生産性向上・材料費の削減等を推し進め、基盤強化を図って参ります。

（計測機器事業）

計測機器事業は、売上高29億2千2百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益3億1百万円（前年同期比1.4%増）となりました。下期に入り自動車生産ライン用検査装置、画像検査装置等の受注が急減しましたが、上期まで業績が比較的堅調に推移していたため営業利益は対前年同期比で僅かながら増加しております。

第4四半期は省エネ・エコ対応の計測機器（省エネタイプエアマイクロメータ等）を重視した営業活動を行うと共に、中国生産関連会社の活用を推進し、固定費削減を含めた原価改善により収益体質の改善を図って参ります。

②所在地別セグメントの業績は以下のとおりであります。

（日本）

自動車部品事業の主力製品であるコントロールバルブの好調による増収があった一方、半導体製造装置事業の減収により売上高は、横ばいの190億1千3百万円（前年同期比0.2%増）となりました。営業利益は、自動車部品事業の増収効果、原価低減活動による増益と、半導体製造装置事業の減益により7億4千2百万円（同39.6%減）となりました。

（ベトナム）

自動車部品事業の主力製品であるコントロールバルブの好調により売上高は98億8千万円（前年同期比19.2%増）となりました。営業利益につきましても、自動車部品事業の増収効果と、原価低減活動の効果により4億8千9百万円（前年同期比430.4%）となりました。

（中国）

計測機器事業の売上が、上期は比較的堅調に推移したものの下期に入り受注が急減したことにより、売上高は2億2千1百万円（前年同期比3.0%増）とほぼ横ばいになりました。営業利益は、価格競争の影響等により3千4百万円（同51.5%減）となりました。

（注）1 事業の種類別セグメント及び所在地別セグメントにおける売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めております。

2 「連結経営成績に関する定性的情報」における前年同期増減率につきましては、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期末における総資産は、前年度末に比べて10億2千8百万円減少し、297億4千9百万円となりました。これは主にたな卸資産は増加した一方、受取手形及び売掛金や投資有価証券が減少したことによるものです。

当第3四半期末における負債は、前年度末に比べて8億2千2百万円減少し、72億8千5百万円となりました。これは主に短期借入金が増加した一方、支払手形及び買掛金が減少したことによるものです。

当第3四半期末における純資産は、前年度末に比べて2億5百万円減少し、224億6千4百万円となりました。これは主に四半期純利益により増加した一方、配当金の支払や繰延ヘッジ損益が減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前年度末の61.3%から62.2%に増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	163
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,397
財務活動によるキャッシュ・フロー	493
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3
現金及び現金同等物の増減額	△744
現金及び現金同等物の当第3四半期末残高	142

当第3四半期において、営業活動によるキャッシュ・フローは1億6千3百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは13億9千7百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは4億9千3百万円の収入となったことにより、当第3四半期末の現金及び現金同等物は前年度末と比べて7億4千4百万円減少し、1億4千2百万円になりました。

営業活動により増加した資金は、前第3四半期より8億3千8百万円減少し、1億6千3百万円となりました。これは、売上債権の減少額17億6千6百万円及び減価償却費12億6千1百万円等による増加と、仕入債務の減少額15億7千8百万円、たな卸資産の増加額12億8千3百万円及び法人税等の支払額8億4千3百万円等による減少によるものです。

投資活動により減少した資金は、前第3四半期より21億3千9百万円増加し、13億9千7百万円となりました。これは、ベトナム子会社が行った設備投資を主とした有形固定資産の取得による支出額11億8千4百万円等による減少によるものです。

財務活動により増加した資金は、前第3四半期より23億7千8百万円増加し、4億9千3百万円となりました。これは、短期借入金の純増加額9億8千6百万円等による増加と、配当金の支払額4億7千1百万円等による減少によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期までの連結業績は、平成20年12月19日に発表した「平成21年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」の平成21年3月期の通期の業績予想に対して概ね予想通りに推移しており、現時点では平成21年3月期の通期の業績予想に変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
- ① 棚卸資産の評価方法
当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。
- ② 固定資産の減価償却費の算定方法
定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。
また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用
第1四半期連結会計期間から、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用しております。
なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。
- ③ 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用
第1四半期連結会計期間から、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を適用しております。
なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。
- ④ リース取引に関する会計基準等の適用
「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。
また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零として算定する定額法によっております。
なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、期首に前連結会計年度末における未経過リース料残高を取得価額として取得したものととしてリース資産に計上する方法によっております。
なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。
- (追加情報) 有形固定資産の耐用年数の変更
平成20年度の法人税法の改正を契機に、当社の機械及び装置につき経済的耐用年数の見直しを行った結果、従来耐用年数を10~12年としておりましたが、第1四半期連結会計期間より9年に変更しております。これにより、従来と同一の耐用年数による場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ13,738千円減少しております。
なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	188,287	222,297
受取手形及び売掛金	5,120,071	6,889,006
製品	1,157,831	760,650
原材料	1,923,848	1,428,302
仕掛品	3,247,104	2,925,541
貯蔵品	280,131	212,124
繰延税金資産	346,920	356,790
関係会社預け金	—	664,552
その他	1,055,517	826,856
貸倒引当金	△1,002	△1,360
流動資産合計	13,318,711	14,284,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,879,394	8,856,328
減価償却累計額	△3,734,519	△3,496,677
建物及び構築物(純額)	5,144,875	5,359,651
機械装置及び運搬具	14,725,730	14,211,872
減価償却累計額	△8,401,260	△8,117,314
機械装置及び運搬具(純額)	6,324,470	6,094,557
工具、器具及び備品	2,223,746	2,137,840
減価償却累計額	△1,767,718	△1,642,469
工具、器具及び備品(純額)	456,027	495,370
土地	1,425,130	1,425,130
リース資産	65,270	—
減価償却累計額	△20,917	—
リース資産(純額)	44,353	—
建設仮勘定	669,551	317,516
有形固定資産合計	14,064,407	13,692,226
無形固定資産		
投資その他の資産	641,737	577,762
投資有価証券	708,456	1,473,280
その他	1,018,058	751,430
貸倒引当金	△1,850	△1,850
投資その他の資産合計	1,724,664	2,222,861
固定資産合計	16,430,810	16,492,849
資産合計	29,749,521	30,777,611

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,536,866	5,130,685
短期借入金	986,931	—
リース債務	19,911	—
未払費用	616,900	558,046
未払法人税等	12,604	605,204
賞与引当金	262,084	459,696
その他	1,682,066	1,031,001
流動負債合計	7,117,366	7,784,634
固定負債		
長期末払金	99,113	193,378
リース債務	26,658	—
繰延税金負債	—	83,287
退職給付引当金	41,899	46,556
その他	205	337
固定負債合計	167,876	323,559
負債合計	7,285,242	8,108,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,087,026	5,087,026
資本剰余金	4,604,553	4,604,553
利益剰余金	9,088,832	9,168,416
自己株式	△10,601	△10,571
株主資本合計	18,769,810	18,849,424
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△98,560	3,991
繰延ヘッジ損益	△170,799	5,576
為替換算調整勘定	△1,625	4,880
評価・換算差額等合計	△270,984	14,448
少数株主持分	3,965,453	3,805,543
純資産合計	22,464,278	22,669,417
負債純資産合計	29,749,521	30,777,611

(2) 【四半期連結損益計算書】

① 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
売上高	19,117,824
売上原価	15,438,532
売上総利益	3,679,292
販売費及び一般管理費	
運搬費	198,515
給料及び手当	531,964
賞与引当金繰入額	144,203
減価償却費	69,758
研究開発費	731,784
その他	718,727
販売費及び一般管理費合計	2,394,953
営業利益	1,284,339
営業外収益	
受取利息	2,982
受取配当金	29,622
固定資産賃貸料	3,808
受取ロイヤリティー	5,391
受取保険金	12,749
その他	9,989
営業外収益合計	64,544
営業外費用	
支払利息	2,279
売上割引	3,809
為替差損	67,853
持分法による投資損失	14,898
その他	2,232
営業外費用合計	91,073
経常利益	1,257,809
特別損失	
有形固定資産処分損	5,358
投資有価証券評価損	591,008
その他	188
特別損失合計	596,554
税金等調整前四半期純利益	661,255
法人税、住民税及び事業税	162,997
法人税等調整額	△53,464
法人税等合計	109,532
少数株主利益	159,909
四半期純利益	391,812

②【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
売上高	5,640,039
売上原価	4,742,874
売上総利益	897,165
販売費及び一般管理費	
運搬費	61,413
給料及び手当	180,670
賞与引当金繰入額	48,577
減価償却費	23,971
研究開発費	241,679
その他	247,764
販売費及び一般管理費合計	804,076
営業利益	93,088
営業外収益	
受取利息	1,428
受取配当金	16,045
固定資産賃貸料	1,179
受取ロイヤリティー	1,019
その他	3,199
営業外収益合計	22,872
営業外費用	
支払利息	1,842
売上割引	1,120
為替差損	23,483
持分法による投資損失	16,599
その他	1,014
営業外費用合計	44,060
経常利益	71,900
特別損失	
有形固定資産処分損	1,263
投資有価証券評価損	591,008
特別損失合計	592,271
税金等調整前四半期純損失(△)	△520,370
法人税、住民税及び事業税	△97,844
法人税等調整額	△127,107
法人税等合計	△224,952
少数株主利益	26,437
四半期純損失(△)	△321,856

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	661,255
減価償却費	1,261,214
投資有価証券評価損益(△は益)	591,008
持分法による投資損益(△は益)	14,898
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△358
賞与引当金の増減額(△は減少)	△197,611
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4,657
確定拠出移行に伴う未払金の減少額	△104,613
受取利息及び受取配当金	△32,604
支払利息	2,279
有形固定資産処分損益(△は益)	5,358
売上債権の増減額(△は増加)	1,766,886
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,283,237
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,578,576
その他	△124,077
小計	977,162
利息及び配当金の受取額	32,604
利息の支払額	△2,438
法人税等の支払額	△843,515
営業活動によるキャッシュ・フロー	163,812
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,184,640
有形固定資産の売却による収入	136,732
無形固定資産の取得による支出	△186,568
関係会社出資金の払込による支出	△118,998
定期預金の預入による支出	△45,450
その他	986
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,397,939
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	986,931
配当金の支払額	△471,361
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△21,963
その他	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	493,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,583
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△744,133
現金及び現金同等物の期首残高	886,850
現金及び現金同等物の四半期末残高	142,717

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

	自動車部品 (千円)	半導体 製造装置 (千円)	計測機器 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	14,355,323	1,890,564	2,871,936	19,117,824	—	19,117,824
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,095	—	50,974	55,069	(55,069)	—
計	14,359,418	1,890,564	2,922,911	19,172,894	(55,069)	19,117,824
営業利益又は 営業損失(△)	1,164,075	△181,239	301,503	1,284,339	—	1,284,339

(注) 1 事業区分は、製品の種類及び性質の類似性を考慮し、区分しております。

2 各事業区分に属する主要な製品

- (1) 自動車部品 油圧及び空気制御用電磁弁、自動変速機用油圧制御システム
(2) 半導体製造装置 全自動ダイボンダ、オプトデバイス用ダイボンダ
(3) 計測機器 自動測定装置、コンプレッサー用芯出機、IC外観検査装置、画像処理装置、ウェーハバンプ検査装置、空気・電気マイクロメータ、精密ボールねじ、ねじゲージ等

3 「【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(追加情報)」に記載のとおり、平成20年度の法人税法の改正を契機に、当社の機械及び装置につき経済的耐用年数の見直しを行った結果、従来耐用年数を10~12年としておりましたが、第1四半期連結会計期間より9年に変更しております。この変更に伴い、従来と同一の耐用年数による場合と比較して、当第3四半期連結累計期間における営業利益は、「自動車部品」が9,679千円、「半導体製造装置」が149千円、「計測機器」が3,909千円、それぞれ減少しております。

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)

	自動車部品 (千円)	半導体 製造装置 (千円)	計測機器 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,394,198	405,176	840,664	5,640,039	—	5,640,039
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,894	—	8,952	10,847	(10,847)	—
計	4,396,092	405,176	849,617	5,650,886	(10,847)	5,640,039
営業利益又は 営業損失(△)	148,610	△59,559	4,037	93,088	—	93,088

② 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

	日本 (千円)	ベトナム (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	18,955,535	1,874	160,414	19,117,824	—	19,117,824
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	57,912	9,878,618	60,610	9,997,142	(9,997,142)	—
計	19,013,447	9,880,493	221,025	29,114,967	(9,997,142)	19,117,824
営業利益	742,921	489,787	34,896	1,267,605	16,734	1,284,339

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 「【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(追加情報)」に記載のとおり、平成20年度の法人税法の改正を契機に、当社の機械及び装置につき経済的耐用年数の見直しを行った結果、従来耐用年数を10~12年としておりましたが、第1四半期連結会計期間より9年に変更しております。この変更に伴い、従来と同一の耐用年数による場合と比較して、当第3四半期連結累計期間における営業利益は、「日本」が13,738千円減少しております。

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)

	日本 (千円)	ベトナム (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	5,585,553	115	54,370	5,640,039	—	5,640,039
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,666	3,134,853	14,018	3,164,538	(3,164,538)	—
計	5,601,220	3,134,968	68,388	8,804,577	(3,164,538)	5,640,039
営業利益又は 営業損失(△)	△14,452	121,408	11,366	118,322	△25,234	93,088

③ 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	極東	東南アジア	北米	その他	計
海外売上高(千円)	1,879,832	794,865	468,090	52,837	3,195,626
連結売上高(千円)					19,117,824
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.8	4.2	2.4	0.3	16.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 極東 韓国、中国、台湾、香港
(2) 東南アジア タイ、マレーシア、フィリピン、シンガポール、ベトナム、インドネシア
(3) 北米 メキシコ
(4) その他 スペイン、ドイツ、ハンガリー、インド、パキスタン

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	極東	東南アジア	北米	その他	計
海外売上高(千円)	544,978	137,352	287,409	15,661	985,402
連結売上高(千円)					5,640,039
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.7	2.4	5.1	0.3	17.5

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

【参考】

・前四半期連結財務諸表等

(1) (要約) 前四半期連結損益計算書(9ヶ月)

		(単位：千円)
区 分	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	
I 売上高		19,101,840
II 売上原価		15,385,225
売上総利益		3,716,615
III 販売費及び一般管理費		2,292,006
営業利益		1,424,608
IV 営業外収益		
1 受取利息		2,968
2 受取配当金		26,352
3 固定資産賃貸料		4,470
4 受取ロイヤリティー		7,633
5 保険金収入		8,635
6 持分法による投資利益		1,925
7 その他		13,257
計		65,243
V 営業外費用		
1 支払利息		11,948
2 売上割引		4,564
3 為替差損		2,366
4 その他		6,783
計		25,664
経常利益		1,464,187
VI 特別利益		
有形固定資産売却益		1,045,459
計		1,045,459
VII 特別損失		
1 有形固定資産売却損		37,749
2 有形固定資産除廃却損		43,332
3 土地売却に伴う費用		56,549
4 その他		4,061
計		141,693
税金等調整前四半期純利益		2,367,953
法人税、住民税及び事業税		753,026
法人税等調整額		154,126
少数株主利益		18,958
四半期純利益		1,441,841

(2) (要約) 前四半期連結損益計算書 (3ヶ月)

(単位：千円)

区 分	前第3四半期連結会計期間 (自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)
I 売上高	6,755,148
II 売上原価	5,338,812
売上総利益	1,416,336
III 販売費及び一般管理費	800,452
営業利益	615,884
IV 営業外収益	
1 受取利息	1,046
2 受取配当金	13,785
3 固定資産賃貸料	1,494
4 受取ロイヤリティー	597
5 その他	2,274
計	19,197
V 営業外費用	
1 支払利息	3,559
2 為替差損	157
3 持分法による投資損失	9,522
4 その他	2,712
計	15,952
経常利益	619,129
VI 特別利益	
有形固定資産売却益	1,044,838
計	1,044,838
VII 特別損失	
1 有形固定資産売却損	37,088
2 有形固定資産除廃却損	872
3 土地売却に伴う費用	56,549
4 その他	1,880
計	96,390
税金等調整前四半期純利益	1,567,576
法人税、住民税及び事業税	551,693
法人税等調整額	32,022
少数株主利益	6,801
四半期純利益	977,057

(3) (要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	2,367,953
2 減価償却費	1,150,612
3 貸倒引当金の増減額	153
4 賞与引当金の増減額	△132,534
5 退職給付引当金の増減額	6,386
6 確定拠出移行に伴う未払金の増減額	△150,698
7 受取利息及び受取配当金	△29,321
8 支払利息	11,948
9 有形固定資産売却益	△1,045,459
10 有形固定資産売却損	37,749
11 有形固定資産除廃却損	43,332
12 売上債権の増減額	△712,577
13 たな卸資産の増減額	△218,866
14 仕入債務の増減額	164,215
15 その他	256,120
小計	1,749,015
16 利息及び配当金の受取額	29,321
17 利息の支払額	△12,122
18 法人税等の支払額	△763,427
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,002,787
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有形固定資産の取得による支出	△762,736
2 有形固定資産の売却による収入	1,576,084
3 無形固定資産の取得による支出	△121,379
4 長期貸付金の返済による収入	49,400
5 その他	381
投資活動によるキャッシュ・フロー	741,749
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の増減額	△1,500,010
2 配当金の支払額	△384,976
3 その他	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,885,090
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	372
V 現金及び現金同等物の増減額	△140,180
VI 現金及び現金同等物期首残高	333,739
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	193,558

・セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

	自動車部品 (千円)	半導体 製造装置 (千円)	計測機器 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	12,804,997	3,566,397	2,730,445	19,101,840	—	19,101,840
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,134	—	73,847	79,981	(79,981)	—
計	12,811,131	3,566,397	2,804,292	19,181,822	(79,981)	19,101,840
営業費用	11,916,952	3,333,280	2,506,980	17,757,213	(79,981)	17,677,232
営業利益	894,179	233,116	297,311	1,424,608	—	1,424,608

(注) 1 事業区分は、製品の種類及び性質の類似性を考慮し、区分しております。

2 各事業区分に属する主要な製品

- (1) 自動車部品 油圧及び空気制御用電磁弁、自動変速機用油圧制御システム
- (2) 半導体製造装置 全自動ダイボンダ、オプトデバイス用ダイボンダ
- (3) 計測機器 自動測定装置、コンプレッサー用芯出機、I C外観検査装置、画像処理装置、ウェーハバンプ検査装置、空気・電気マイクロメータ、精密ボールねじ、ねじゲージ等

前第3四半期連結会計期間(自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)

	自動車部品 (千円)	半導体 製造装置 (千円)	計測機器 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,403,658	1,337,986	1,013,503	6,755,148	—	6,755,148
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,064	—	25,176	27,241	(27,241)	—
計	4,405,723	1,337,986	1,038,680	6,782,390	(27,241)	6,755,148
営業費用	4,015,227	1,226,760	924,517	6,166,506	(27,241)	6,139,264
営業利益	390,495	111,225	114,162	615,884	—	615,884

(2) 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

	日本 (千円)	ベトナム (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	18,926,467	17,436	157,937	19,101,840	—	19,101,840
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	56,129	8,273,109	56,585	8,385,824	(8,385,824)	—
計	18,982,596	8,290,546	214,522	27,487,665	(8,385,824)	19,101,840
営業費用	17,751,716	8,198,204	142,599	26,092,520	(8,415,288)	17,677,232
営業利益	1,230,880	92,341	71,922	1,395,144	29,463	1,424,608

(注) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

前第3四半期連結会計期間(自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)

	日本 (千円)	ベトナム (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	6,687,314	1,691	66,142	6,755,148	—	6,755,148
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,167	2,937,321	20,573	2,972,063	(2,972,063)	—
計	6,701,482	2,939,012	86,716	9,727,212	(2,972,063)	6,755,148
営業費用	6,180,302	2,849,665	54,395	9,084,362	(2,945,098)	6,139,264
営業利益	521,180	89,347	32,320	642,849	(26,965)	615,884

(3) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

	極東	東南アジア	北米	その他	計
海外売上高(千円)	2,620,338	1,117,130	8,057	44,451	3,789,978
連結売上高(千円)					19,101,840
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.7	5.9	0.0	0.2	19.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 極東 韓国、中国、台湾、香港
(2) 東南アジア タイ、マレーシア、フィリピン、シンガポール、ベトナム、インドネシア
(3) 北米 米国
(4) その他 ドイツ、フランス、インド、パキスタン、ロシア、スペイン、イギリス

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

前第3四半期連結会計期間(自平成19年10月1日至平成19年12月31日)

	極東	東南アジア	北米	その他	計
海外売上高(千円)	1,003,073	515,952	—	14,762	1,553,788
連結売上高(千円)					6,755,148
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.9	7.6	—	0.2	22.7

6. [その他の情報]

平成21年1月29日
日本電産トールソク株式会社

平成21年3月期（第79期）第3四半期連結決算概要

1. 連結業績の状況

	当第3四半期 (累計) 自平成20年4月1日 至平成20年12月31日	前年 同期 増減率	前第3四半期 (累計) 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日	当第3四半期 自平成20年10月1日 至平成20年12月31日	前年 同期 増減率	前第3四半期 自平成19年10月1日 至平成19年12月31日
売上高	百万円 19,117	% 0.1	百万円 19,101	百万円 5,640	% △16.5	百万円 6,755
営業利益	1,284 (6.7%)	△9.8	1,424 (7.5%)	93 (1.7%)	△84.9	615 (9.1%)
経常利益	1,257 (6.6%)	△14.1	1,464 (7.7%)	71 (1.3%)	△88.4	619 (9.2%)
四半期 純利益 又は純損失(△)	391 (2.0%)	△72.8	1,441 (7.5%)	△321 (△5.7%)	△132.9	977 (14.5%)
一株当たり 四半期 純利益 又は純損失(△)	円銭 20.36	△72.8	円銭 74.94	円銭 △16.73	△132.9	円銭 50.78
潜在株式調整後 一株当たり 四半期純利益 又は純損失(△)	—	—	—	—	—	—

※ () 内は、対売上高比率

2. 連結財政状態

	当第3四半期末	前第3四半期末	前年度末
総資産	百万円 29,749	百万円 30,082	百万円 30,777
純資産	22,464	22,568	22,669
自己資本比率	% 62.2	% 62.6	% 61.3
1株当たり 純資産	円銭 961.44	円銭 978.05	円銭 980.41
	当第3四半期(累計)	前第3四半期(累計)	前年度
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円 163	百万円 1,002	百万円 2,108
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,397	741	387
財務活動による キャッシュ・フロー	493	△1,885	△1,945
現金及 現金同 期末 等物 残高	142	193	886

3. 配当の状況

	当第2四半期末	期末	年間
20年3月期	円銭 10.00	円銭 12.00	円銭 22.00
21年3月期	12.50	—	—
21年3月期(予想)	—	12.50	25.00

※ 連結対象会社 2社 持分法適用会社 1社